



新刊書の紹介

概要

行政経営改革の方法が分からない、形骸化した政策評価や補助金等を見直したい、自治会やまちづくり協議会の運営で困っている、PFI やアウトソーシングあるいは RPA、AI を導入したいなど、行政経営や地域経営にお悩みの自治体ご担当者さまに必読の1冊です。

本書は 2019 年度に滋賀大学で開講された「行政経営改革塾」から講師陣の基調講義録を基に、書籍用の書き下ろしを加え再構成したものです。

目次

- 第1章 なぜ今、行政経営改革が必要なのか
- 第2章 行政経営改革とは何か
- 第3章 業務の棚卸し
- 第4章 補助金・負担金等歳出の見直し
- 第5章 使用料・手数料等歳入の見直し
- 第6章 総合計画の策定・進行管理と行政評価
- 第7章 指定管理者制度・PFI の実際
- 第8章 窓口業務等のアウトソーシングの実際
- 第9章 RPA を活用した業務効率化について
- 第10章 Media Platform と AI の活用
- 第11章 地域の改革と中間支援(コミュニティ支援)

執筆者・執筆分担

- 横山 幸司 滋賀大学 経済学部 教授 : 第1章~5章、11章
- 壬生 裕子 滋賀大学 産学公連携推進機構
プロジェクト・アドバイザー : 第6章
- 新田 博之 パシフィックコンサルタンツ(株) 社会イノベーション
事業本部 総合プロジェクト部 : 第7章
- 中西 淳 パーソルテンプスタッフ(株) 西日本 OS 事業本部
西日本運用二課長 : 第8章
- 苅谷 忍 (株)ケーケーシー情報システム事業本部
営業推進室 : 第9章
- 飯久保 啓太 ピーディーシー(株)システムビジネス本部
担当リーダー : 第10章

編著者紹介

横山 幸司 (滋賀大学 経済学部 教授)

行政職員を経て 2013 年度より現職。行政職員の中に国、県、市、町村という地方自治の全ての層に勤務した経験を持つ。これまでに行政経営改革や地域再生等で関わった自治体は延べ 230 以上。(2020.5 時点)内閣府地域活性化伝道師、内閣府 PFI 推進委員会専門委員をはじめ公職多数。博士(学術)



「行政経営改革の要諦」

横山 幸司 編著
サンライズ出版